

Ⅲ 供花料支給対象の死亡の状況

1 供花料支給対象の死亡の発生件数

「供花料支給対象の死亡事故」の発生件数の内訳は、表－5に示すとおりである。

表－5 供花料支給対象の死亡の発生件数 (平成16年度)

区分		学校種別						計	
		小学校	中学校	高等学校	高等専門 学 校	幼稚園	保育所		
〔Ⅰ〕 教育活動中の事故	(1) 体育的活動中	(i) 各教科 (体育・保健体育)	1	0	0	0	0	0	1
		水泳	1						1
		(ii) 特別活動	0	0	0	0	0	0	0
		(iii) 課外指導	0	0	0	0	0	0	0
	計		1	0	0	0	0	0	1
	(2) 体育的活動中以外	(i) 各教科	0	0	1	0	0	0	1
		水産			1				1
		(ii) 特別活動	1	0	0	0	0	0	1
		学級活動 (清掃・ホームルーム)	1						1
		(iii) 課外指導	0	2	1	0	0	0	3
文化的部活動			1	1				2	
計		1	2	2	0	0	0	5	
〔Ⅱ〕 以外の事故中	休憩時間中	(i) 始業前の特定時間中							0
		(ii) 休憩時間中							0
		(iii) 昼食時休憩時間中		1					1
		(iv) 授業終了後の特定時間中							0
		(v) その他							0
計		0	1	0	0	0	0	1	
〔Ⅲ〕 通学(園) 中の事故	(1) 登校中	(i) 徒歩	6	1	1		1		9
		(ii) 自転車		4	4				8
		(iii) 自動二輪車・原動機付自転車			3				3
		(iv) 自動車						1	1
		(v) 鉄道							0
		(vi) その他							0
	計		6	5	8	0	1	1	21
	(2) 下校中	(i) 徒歩	8	1	2				11
		(ii) 自転車		2	5				7
		(iii) 自動二輪車・原動機付自転車			2				2
(iv) 自動車				1			1	2	
計		8	3	10	0	0	1	22	
〔Ⅳ〕 保育中の事故							2	2	
〔Ⅴ〕 寄宿舎での事故								0	
合 計		16	11	20	0	1	4	52	

2 供花料支給対象の死亡の事例

〔I〕教育活動中の事故

(1) 体育的活動中

(i) 各教科（体育・保健体育）

水 泳

事例1	小5年・男	溺 死
-----	-------	-----

6校時（14時55分～15時40分）に5年生のプール開きを行った。運動場で準備体操をし、シャワーを浴びて各クラス4班に分かれてプールサイドに縦に並んで列ごとに入水した。入水後、水中歩き、もぐりっこ、だるま浮き、伏し浮きを行った。その後、けのび、面かぶり、ばた足、面かぶりクロールをプール横17mの半分を使って、プールサイドから中央に向かって泳いだ。15時25分ごろ、面かぶりクロール終了後、全員プールサイドに上がったとき、水中に沈んでいる本児童を発見した。

(2) 体育的活動中以外

(i) 各教科

事例2	高3年・男	大血管系 突然死
-----	-------	----------

遠洋マグロ延縄漁業実習に参加中、出港以来、強い船酔いはえが続いていた。この間、船内作業の免除、休養の指示等十分な配慮をしてきた。当日は船酔いはえが強く、食べたものはすぐもどした。自室ベッドでの休養を指示していた。災害発生時刻までの間、指導教官等が自室ベッドで休養、睡眠していると思われる当該生徒の様子を確認している。その後、他の実習生より、異常報告を受け、船長、衛生管理者等が病院の医師の指示を受けて対応したが、重度の船酔いによる急性循環不全により死亡したものである。

(ii) 特別活動

学級（ホームルーム）活動

事例3	小6年・男	頭部外傷
-----	-------	------

昼休みの後、5校時目が始まる前の清掃時間に、体育館の清掃を行っていた。体育館用モップを持ち清掃を行っていたが、途中で友人の一人がモップを振り回し始めた。その際、そばにいた本児童ほおの頬のあたりにモップが当たり、前方にうつぶせに倒れて動かなくなった。そばにいた他の児童が声を掛けたが反応がなく、担任教諭を呼びに行った。すぐに担任教諭が駆けつ

け、養護教諭に連絡した。呼吸、心臓停止が認められたので、養護教諭とともに人工呼吸及び心臓マッサージを行い、救急車を要請した。救急隊到着により、心肺蘇生を隊員と代わり、本児童は医療機関に搬送された。医療機関では、集中治療室に入り治療を受けたが、意識不明の状態が続き、発生から約7週間後に死亡した。

(iii) 課外指導

事例4	中1年・男	頭部外傷
-----	-------	------

当日、技術部員は、午前9時に登校し、顧問教師の指導の下、9月開催予定の文化祭における発表のための準備作業を行っていた。10時20分ごろ、ゴミ袋を利用して制作した太陽熱熱気球を試し（実験）で揚げるため、校舎3階の渡り廊下へ移動する。その場所（渡り廊下）で、ビニールの破れ等の補修点検作業を行う。1つ目の気球を膨らませ、2階調理室の屋根へ紐ひもでくくり固定する。2つ目の気球を膨らませている時、本生徒は作業のため、2階調理室の屋根の上に出ており、風にあおられて自分の方に向かってきた気球を避けようとして、後ろに下がり、屋根から1階の北側地面に転落した。救急車で医療機関へ搬送され、集中治療室で治療を受けていたが、2日後に死亡が確認される。

事例5	中2年・男	熱中症
-----	-------	-----

当日は、2泊3日の夏期研修の2日目であり、朝9時から登山を計画していた。通常2時間で登頂するところを3時間半かけて登ることを目途に、登山を開始した。3合目、6合目で10分間の休憩を取りながら登っていたが、6合目からは急な登りとなり、各生徒のペースが乱れてきた。本生徒は、同行の男子3名と登っていたが、8合目手前付近から疲れているように見え始め、ふらつきながら歩行していた。その後、正午過ぎには登山道に座り込みぐったりとなったため、直ちにお茶を体にかけて冷やし、気道確保、着衣を緩めるなどの応急処置を行い、119番通報し、救援ヘリを要請した。救援ヘリが13時35分ごろ到着したが、ガスが発生したため視界不良で降下・救援活動が出来ず、警察・消防隊によるレスキュー隊が救助に向かった。本生徒は、先行した救命士が到着した時点では血圧正常、意識反応も若干見られる状態であった。レスキュー隊本体の到着により、本生徒は担架により下山搬送され、医療機関に搬送されたが、発生から約6時間半後に死亡が確認された。

事例6	高2年・男	焼死
-----	-------	----

吹奏楽部の春休み練習終了後、下校途中本生徒は一人で校舎に引き返した。その後旧校舎テニスコート脇で灯油をかぶり焼死した。原因は不明である。

〔Ⅱ〕 教育活動中以外の事故

休憩時間

(iii) 昼食時休憩時間中

事例7	中3年・男	頭部外傷
-----	-------	------

本生徒は、当日午後1時ごろから、同級生3人とサッカーボールで遊ぶために運動場に出ていた。突風が吹き砂埃が巻き上がり周りの様子が見えにくい状況にあったが、1時15分ごろ、風にあおられてサッカーゴールが倒れ、ゴールの上部のバーで頭部を強打した（当日、サッカーゴールは地面に固定されていなかった。）。本生徒は、上半身うつぶせのような状態で倒れており、右足はゴールポストにはさまれていた。一緒にいた3人は近くに散らばっていたが、砂埃をさけるために、それぞれしゃがんだ姿勢で風をよけていた。本生徒は、サッカーゴールを背にした形でしゃがみこんだと思われる。

〔Ⅲ〕 通学（園）中の事故

(1) 登校中（登園中）

(i) 徒 歩

事例8	小1年・男	頭部外傷
-----	-------	------

登校中、信号待ちで縁石に上がっていたが、誤って車道側に転倒し、バスの後輪に巻き込まれた。

事例9	小1年・女	頭部外傷
-----	-------	------

登校班で登校するため集合場所へ行く途中、横断歩道を渡ろうとしている時、軽自動車にはねられた。

事例10	小2年・女	全身打撲
------	-------	------

姉と一緒に自宅を出て、集合場所になっている道路反対側のバス停付近で待っている他児童と合流しようとしていた。姉が一足先に渡り、それに続いて横断しようとした本児童が走行してきた自動車にはねられた。

事例11	小3年・男	轢 死
------	-------	-----

他の児童2名と登校中、横断歩道を青信号と交通指導隊員の誘導に従い歩行していた時、暴走してきた大型特殊自動車（クレーン車）の前後輪にはさまれて轢死した。

事例 12	小3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

朝、家を出て、登校班の集合場所に向かって10mほど行ったところで、後ろから来た軽自動車にはねられた。

事例 13	小4年・女	全身打撲
--------------	-------	------

登校中、信号が青に変わったので横断歩道を渡っている際に、左折してきた大型バスにはねられた。

事例 14	中3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

この日は、公立学校前期受験発表の日で、8時35分の学校集合であった。本生徒は、8時20分ごろ信号機のない交差点を横断中に、左方向から来た乗用車が駐車中の車を避けて通り過ぎようとして、本生徒をはねた。近所のガソリンスタンドの店員が119番通報し救急車が到着し、本生徒を確認したところ、意識はなく、呼吸停止の状態であった。

事例 15	高1年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

生活合宿に参加するため、父親の車で自宅を出発したが、忘れ物に気づき自宅に引き返した。父親は駐車場で、本生徒を待っていたが、なかなか戻らないため、捜していると自宅マンションそばの路上に横たわっている本生徒を発見した。自宅マンションより転落したものと思われる。

事例 16	幼5歳・男	頭部外傷
--------------	-------	------

兄と2人で登園中、横断歩道を渡っていたところ、乗用車にはねられて頭を強く打ち、約1時間後に亡くなった。

(ii) 自転車

事例 17	中1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

友人と自転車で登校中、先頭を走っていて、広い通りへ出る時、左右を十分確認せず道路に飛び出した。その時ちょうど右方向から来た軽自動車にはねられ、飛ばされた。事故後、すぐに救急車で病院に搬送される。

事例 18	中2年・女	全身打撲
--------------	-------	------

自転車で登校中、ヘルメットをかぶり通学路の左側を走行していた際、居眠りによる前方不注意のトラックが突然右方向にハンドルを切ったため、自転車とトラックが正面衝突する。

事例 19	中2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、国道交差点の自転車横断帯を青信号で渡っていた時、左折してきたトラックにはねられる。

事例 20	中3年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車により通学途中、右側しかない歩道を走行し、歩道が左側になるため、この交差点を横断しようと車道に侵入したところ、2tトラックと出会い頭に衝突した。本生徒はトラック左側前方に接触し、数メートル飛ばされ、トラックは、右にハンドルを切るが生徒と接触後、

右側路肩に転落し、電柱を折って大破した。救急隊員が駆けつけた時には、既に心停止、呼吸なし、脈なしの状態だった。

事例 21	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

部活動の練習に参加するために、自転車で登校中、T字路で横断歩道を渡った時、赤信号を無視して通行して来た自動車にはねられ頭部を強打した。

事例 22	高1年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

通常の通学経路により自転車で登校中、信号の無い交差点を直進しようとしたところ、左方向から来た自動車と出会いがしらに衝突し、道路に跳ね飛ばされた。その際、頭部を強打し、脳挫傷、頭蓋骨骨折を負った。

事例 23	高1年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、自宅から長い下り坂を走行していて、坂を上ってきた自動車と正面衝突し、右側頭部を強打し、意識不明となる。救急車にて公園まで搬送後、ドクターヘリで病院へ搬送された。

事例 24	高3年・男	内蔵損傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、交差点で横断歩道を横断中、乗用車にはねられた。

(iii) 自動二輪車・原動機付自転車

事例 25	高定2年・男	頭部外傷
--------------	--------	------

原動機付自転車で登校中、見通しの悪い交差点で、乗用車と出会い頭に衝突し、18メートルほど引きずられる。

事例 26	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

登校のため、兄の自動二輪車の後部座席に乗車し送ってもらっている途中、反対側から右折してきた軽自動車と接触し転倒する。本人はその弾みで体が飛ばされ、全身打撲した。

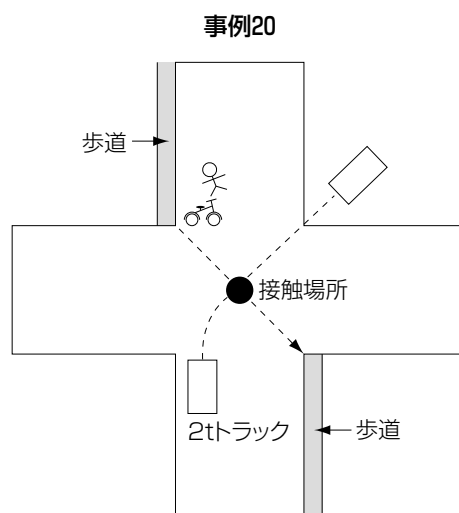
事例 27	高3年・男	全身打撲
--------------	-------	------

夏休み中の学年登校日に、原動機付自転車で登校する途中、橋を渡り、土手を下って行ったところ、近所の小学校の正門付近で反対車線に飛び出してきた乗用車と正面衝突し、全身を打撲する。10分後、救急車にて病院に搬送される。

(iv) 自動車

事例 28	保6歳・男	頭部外傷
--------------	-------	------

通常通り保育所へ向かうため、午前8時30分母親と自宅を出る。先に母親が車へ乗りエンジン



をかけた際、ギアがローに入っているままエンジンキーを回したため、車が前方へ動いてしまった。この時、本児がいないことに気づき、捜したところ自宅と車の間に本児が挟まれていた。

(2) 下校中 (降園中)

(i) 徒 歩

事例 29	小1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

下校中、自宅近くまでに来て話に夢中になったまま、他の児童とともに国道を渡り、自宅裏付近まで来たところで自宅へ向かうため、再び国道を横断しようとした際、左車線を走ってきた軽自動車にはねられ、反対の右車線に飛ばされ、更にその車線から走行してきた大型観光バスにはねられた。

事例 30	小1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

下校中、青信号で横断歩道を渡っていたところ、交差点に進入してきた路線バスに接触し、転倒したところを後部車輪に轢かれ死亡した。

事例 31	小1年・女	頭部外傷
-------	-------	------

下校中、自宅近くの交差点で、押しボタンを押し、横断歩道を横断中、大型トレーラーに巻き込まれた。救急車で病院に搬送、救急隊到着時には心肺停止状態であった。

事例 32	小2年・男	全身打撲
-------	-------	------

夏休み中の学校プールから、通常の下校経路を歩いて帰宅していた。交差点で信号が青になったので横断歩道へ入って行ったところ、後方から左折してきたミキサー車にはねられた。

事例 33	小2年・男	頭部外傷
-------	-------	------

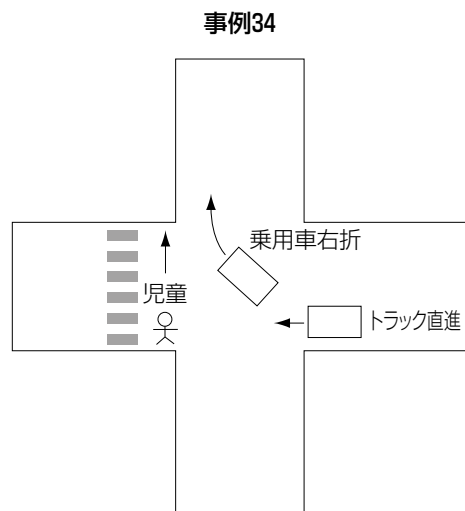
下校途中の事故で、学校を出て歩いて下校中、広い道を渡る時に、10 t ダンプカーに轢かれて即死した。

事例 34	小4年・男	頭部外傷
-------	-------	------

通学路を下校中、交差点の横断歩道を青信号で渡ろうとした。右折車が右折した後、後続のトラックが直進してきて本児童に衝突し、本児童はトラックの下敷きになった。

事例 35	養小5年・男	頭部外傷
-------	--------	------

スクールバスで下車後、他の生徒の下車を待っていたが、なかなか下車しないので一緒にいた支援員が、本児童を待たせ車内に入り他の児童を降ろしたが、靴がぬげてしまい靴を履かせている間にバスが発車、バスの前に入り込んだと思われる本児童を左後輪で轢いてしまった。



事例 36	小6年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

他の児童3人と通学路を徒歩で下校中、自宅前の横断歩道のない道路を横断中に左側から走行してきた自動車と衝突した。車は急ブレーキで止まったが、本児童は3mほど先のコンクリートの歩道にはね飛ばされた。

事例 37	中3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

下校中、雨天で荷物も多かったので、帰りが同じ方向の他生徒の父親の車に同乗し、自宅付近で車から降り道路を横断しようとした時、反対方向から来た車にはねられた。

事例 38	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

野球部の部活動が終了し、最寄り駅から自宅に向かい徒歩で下校中、県道を横断していたところ、下り車線を直進してきた乗用車に左側から衝突された。

事例 39	高定3年・女	全身打撲
--------------	--------	------

通学路を歩いて下校途中、他の生徒と2人で道路を横断中、走ってきた車にはねられた。

(ii) 自転車

事例 40	中1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、見通しの悪い交差点にさしかかった際、普通乗用車の左側と自転車の後輪部分が衝突し、そのはずみで自転車と本生徒は車のボンネットに乗せられたまま9メートル進み、地面に落とされた。

事例 41	中1年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、横断歩道を横断していた時、乗用車にはねられた。

事例 42	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

部活動を午後7時40分ころ終了し、学校から自転車で国道を東に向かい下校途中（道路左側を通行）、後方から進行してきた普通乗用車に追突された。

事例 43	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、左側歩道を走行していたところ、工場へ入ろうとしたトラックと衝突し、転倒したところ左後輪に巻き込まれた。直ちに救急車で搬送されたが、即死状態であった。

事例 44	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

テニス練習後、ラケット等を学校へ置きに行く途中、自転車専用道路を走っていたところ、自動車が前方を走っていた自動車を追い抜こうとした際、ハンドルを切り損ね、本生徒の自転車に衝突した。

事例 45	高3年・女	内蔵損傷
--------------	-------	------

部活動が終わって自転車で下校中、横断歩道を青信号横断中、左折してきた大型ダンプカーに巻き込まれるようにはねられた。

事例46	高3年・女	頭部外傷
------	-------	------

通常の経路を自転車で下校中、交差点で反対方向から走ってきたトラックにはねられ、頭などを強く打った。

(iii) 自動二輪車・原動機付自転車

事例47	高2年・男	頭部外傷
------	-------	------

部活動終了後、通常の経路・方法により原動機付自動車で下校中、自宅から1.3km手前の緩やかな上りカーブで、対向車線の自動車がセンターラインを超えてきたため、本生徒と正面衝突した。

事例48	高3年・女	頭部外傷
------	-------	------

大型トレーラーが前方から来たミキサー車との離合のため停車していた。その後ろに、本生徒の原動機付自転車は停止していた。離合のため大型トレーラーがバックを始め、本生徒は、原動機付自転車とともに巻き込まれて死亡した。

(iv) 自動車

事例49	高3年・男	内臓損傷
------	-------	------

卒業生に自宅まで車で送ってもらうこととなったが、ハンドル操作を誤りスリップし、対向車に衝突した。

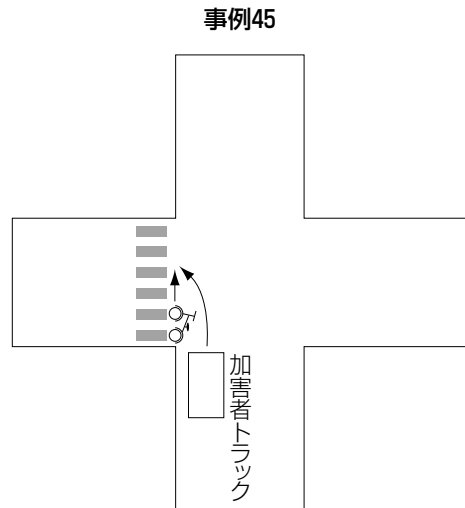
事例50	保3歳・男	頸椎損傷
------	-------	------

降園途中、T字路交差点で、会社員の運転する乗用車と本児の母親が運転する乗用車が出会い頭に衝突、助手席に乗っていた本児が首を強く打ち、間もなく死亡した。

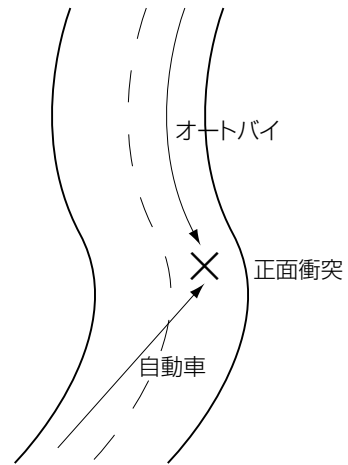
〔Ⅳ〕 保育中

事例51	保2歳・男	窒息死
------	-------	-----

当日、本児は、通常どおり登園し、午前11時40分より午睡に入る。午後1時40～50分ごろ、隣に寝ていた園児が泣いたため目を覚ましたが、また眠りに入った。午後2時29分に午睡から起こそうとした際、ぐったりしている本児を発見する。うつ伏せ、呼吸なしの状態ですぐに人工呼吸、心臓マッサージを行う。救急車で病院へ搬送されるも、胃内容の気道内吸引による窒



事例47



息のため死亡する。

事例 52	保2歳・女	窒息死
-------	-------	-----

前日欠席していたが、体調も戻り登園、ふだんと変わりなく過ごす。11時30分から給食、献立はご飯、鯖のみぞれ掛け、ごま和え（人参、ほうれん草、白菜）、バナナであった。ご飯と魚を混ぜて、介助してもらいながら食べる。その間、お茶を何度も欲しがるので多めに与える。食後、口の周りをふく際、口を開けさせ、中に何も無いことを確認し、着替えさせる。前日欠席していたので、着替えの時、視診、触診を行なった。12時45分寝付いたため布団を掛けた。12時48分、痙攣^{けいれん}を起こしているのを発見、目が虚ろな状態^{うつろ}でぐったりとしていた。よだれのよなもの^{よなもの}が少し出ており、口の中を見ると食物があったので出した（ほうれん草のスジ、魚のフレーク状の粒）。吐物をしたらしい。意識はなく、脈もかすかにふれる程度だった。救急車で人工呼吸等行い、病院に搬送後も心肺蘇生法が施されるも、15日後、窒息による臨床的脳死と診断され、死亡する。

〔V〕 寄宿舍

該当無し